

## 農体験リーダー制度に関する1年間の流れ

農体験リーダー制度に関する業務の、1年間のおおまかな流れは以下のとおりです。

- 派遣希望の確認（11～12月ころ）

札幌市教育委員会生涯学習部保健給食課（以下、保健給食課）から、各校に対し、本制度を利用した派遣希望の有無及び対象学年、人数、回数、内容等を照会し、その結果を農業支援センターに報告します。

農業支援センターでは、各校からの要望に基づき、派遣予定となるリーダーを仮決定し、その結果を保健給食課へ通知します。

- 申請（4月中旬まで）

派遣希望校は、「**農体験リーダー派遣依頼書**」に必要事項を記入し、農業支援センターに提出してください（期限は厳守）。この際に、派遣回数と派遣希望時期を記載していただきますが、派遣回数は以降変更できません。派遣希望時期は、リーダーに対し、おおよその日程を伝えるための情報です。

- 派遣決定（4月下旬ころ）

農業支援センターは、保健給食課、派遣希望校及び、リーダーに対し、派遣決定通知を送付します。

なお、すべての手続きが終了してからの派遣となりますので、初回の派遣は概ね5月はじめ頃となります。

- 派遣の開始（5月上旬）

派遣決定通知後、リーダーから派遣希望校へ連絡します。派遣希望校はその際に、リーダーからリーダーの連絡先を聞いてください。各学校が希望する日程は、農業支援センターから担当リーダーに伝えてありますので、リーダーと相談し、日程を決定してください。決定された日程は、農業支援センターに連絡する必要はありません。報告書にご記載ください。

1回目の派遣は、リーダーと学校との打ち合わせになると思われます。これもリーダー派遣となりますので、報告書を提出してください。

- 派遣の実施と報告（5月上旬から）

リーダーは、打ち合わせの内容をもとに、児童生徒等に対し指導・助言などを行います。

学校は、リーダー派遣のたびに、速やかに「**農体験リーダー派遣実施報告書**」を作成し、農業支援センターへ提出してください。最後の派遣となった場合は、必ずその旨報告書にご記載ください。

- その他

4月に通知した派遣回数の上限を超えないようお願いいたします。なお、雨天等の影響で中止になり、回数が減ったとしても特に差支えはありません。特に農業支援センターへ報告いただく必要もありません。ただし、回数が減ったことがわかるよう、最後の派遣を受けた際には、報告書にて、今年度の派遣が終了した旨をご記載ください。

#### **農体験リーダー制度を利用するうえでの注意点**

本制度を利用する際は、下記の点にご注意いただきますようお願いいたします。

- 「**農体験リーダー派遣依頼書**」の提出期限を遵守する。

派遣依頼書の提出期限は、毎年4月中旬ごろに設定しておりますが、昨年度に希望のあった学校から回答がそろった段階で事務手続きを進めますので、期限を遵守いただくとともに、制度利用を辞退する場合も期限までにご連絡ください。提出は、FAXでもかまいません。

- 「**農体験リーダー派遣実施報告書**」の提出を遵守する。

各校は、リーダーの派遣を受けるたびに、上記報告書を提出する必要があります。この報告書は、リーダーに活動費を支給するための根拠となることから、速やかに提出する必要があります。

- 1回の派遣時間は概ね2時間以内。

札幌市農体験リーダー制度実施要綱にて、上記のとおり定められております。

- 高齢のリーダーが多いので、作業内容についてご配慮ください。

リーダーの活動内容は、農業に対する技術指導や実演が主たるものとなっております。2時間の活動時間に収まらない部分については、学校の方でご対応くださいますようお願いいたします。